

このプリントは令和4年6月4日（土）に行われた本校の「オンライン説明会」においてお話しした内容です。小学生の皆さんや保護者の方々に、学校選びの参考にしていただけたらと思います。

輝翔館中等教育学校を目指す小学生の皆さん、保護者の皆様へ

福岡県立輝翔館中等教育学校  
校長 山口英明

本日は、本校の「オンライン説明会」にご参加いただきありがとうございます。校長の私からは「これからの時代に対応した、中学校選びのポイント」についてお話しします。小学生の皆さん、保護者の皆様の学校選びの一助となれば幸いです

## 1 自分に合った学校選びを

### (1) はじめに

今の子供たちが社会で活躍する30年後の日本や世界はどうなっているのでしょうか。「AIの急激な発達によって、現在の仕事の多くはロボットが行うようになるのではないか」とは容易に想像が出来ます。しかも、日本には「人口減少」と「国際競争力の低下」という深刻な問題があり、保護者の世代が身に付けてきた能力とは異なる能力がこれから必要となることは明らかです。

(ちなみに、福岡県の中学校3年生の生徒数は、令和3年度の統計では約4万6千人となっていて、保護者が中学生の頃、平成元年度あたりと比較すると、約3万人も減少しています。国際競争力の面でも、1人あたりのGDPはOECD諸国の中で37ヵ国中かつて4位だったのが現在19位となり、平均値4万4000ドルよりも下回っている状況です。)

### (2) よい中学校・高校の条件とは

このように見ると、児童の皆さんにとって、自分が通う「中学校を選ぶ」ことは、「自分が将来、どのようになりたいか」を考えることにつながり、保護者にとっては、子供が通う「中学校を選ぶ」ことは、「保護者としてどのような子供に育てて欲しいか」を考えることにつながります。

そこで、皆さんが通うべき「よい中学校・高校」とは、一言でいえば「**これからを生きる子供たちの未来を考えた教育を、積極的に提供できている学校であるかどうか**」だといえます。自分に合った学校選びをするためにも、大学の合格実績だけではなく、その学校がどのような能力を伸ばし、どのような可能性を広げようとしているのかを見極めることが大切です。

## 2 輝翔館中等教育学校の挑戦 ～今、県立中高一貫校が熱い！

### (1) グローバルリーダーを育てる

「グローバルリーダー」とは、国や文化、言語の壁を超えて多様な環境で活躍する人材のことをいいます。これからの国際社会においては、国内外でますますグローバルリーダーの必要性が高まってきます。単なる言語力だけではなく、文化の違いに配慮しながら人間関係を深め力などが求められます。

本校が考える「グローバルリーダーに必要な資質」とは次の4つです。

- ①問題解決能力
- ②コミュニケーション能力
- ③リーダーシップ
- ④語学力

私は、本校に来てまだ2ヶ月ですが、このコロナ禍でも海外に留学している生徒がいることや、今まで英検準1級や2級に多く生徒が挑戦し合格していること、前期課程から「総合英会話」の授業を取り入れていることなどに、本校生徒の意識の高さや、学校としての可能性の大きさを感じています。コロナ禍で中断している「5年生海外修学旅行」「全学年希望者による夏休み海外ホームステイ」を、今年度は「国内留学」「オンライン活用」に形を変えながら、21世紀型教育プログラム（「輝翔館モデル」）を是非構築したいと考えています。

## （2）知・徳・体のバランスの取れた教育

福岡県内には5つの県立の中高一貫校（育徳館、門司学園、宗像、嘉穂、輝翔館）があります。わざわざ高い学費や寄付金を出して私立に行かずとも、県立の良さを知っていただければ、必ず県立学校（中高一貫校、県立高校など）を第一志望にしていだけると思っています。それほど、私たちは「**県立であることに誇りを持っていますし、新しいことに挑戦し続けようという気概を持っています。**

小学生の皆さんも「知・徳・体」という言葉を聞いたことがあると思いますが、一言でいうと、勉強だけではなく、この3つをバランス良く身に付けさせることが県立学校の一番のこだわりです。

- ① 「知」～今年の4月から全国の高校では公立・私立に関わらず「新学習指導要領」が実施されています。やさしく言うと、新しい教科・科目を学習したり、今までとは学習する内容が変わりました。特に授業スタイルについては、先生が教えることが中心であった「一方通行型」から、生徒が考えることを支援する「相互通行型」の授業に変わります。県立の教職員の多くは、**厳しい採用試験に合格し、各学校や県教育センター等で研修を受ける機会が義務付けられており、先生方が「授業のプロ」としての腕を磨いています。**本校でも、PIL（Peer Instruction Lecture 生徒教え合い授業）やPBL（Problem Based Learning 問題解決型学習）に取り組むため、職員は授業手法を身につける努力を続けています。
- ② 「徳」～**県立学校で学校行事を大切にしない学校はまずありません。言い換えれば、県立は学校行事にこだわっています。**それは、1つの目標に向かって生徒全員が進んでいくことが、何よりも人間的成長につながることを私たちは知っているからです。現在の不透明な時代をたくましく生きるためには、学校という守られた環境の中で、いかにたくさんの成功体験、失敗体験をするかが大切です。多くの人とかかわり、幅広く見聞を広げる力、豊かにコミュニケーションをとる力を身に付けさせることに私たちは時間と労力を惜しみません。本校でも「体育大会」「文化発表会」をはじめ多くの学校行事が生徒の大いなる成長の場となっています。
- ③ 「体」～県立学校にはいろいろな種類の部活動があり、「部活動だけ」すればよいのではなく、**学習と部活動とを両立して頑張ることができるようにしっかりサポートします。**限られた時間の中で、集中して活動できるように工夫して練習し、仲間との絆をより一層深めています。「ALL県立」「県立魂」という言葉がよく使われる

のは、そのプライド表れだと言えるでしょう。本校でも運動部だけではなく、文化部も心身ともに成長できるよう楽しく活動しています。

### (3) 県立は経済的にも魅力的

保護者の方のために、経済的なお話を一言しておく、文部科学省「子供の学習費調査」によると、公立と私立の「学校教育費」の差額は、**中高の6年間では、私立のほうが約411万円も高くなっています**。他に、塾代などを加えるとさらに差額が広がることとなりますので、その点でも公立は圧倒的に魅力的だと言えます。

## 3 最後に

### (1) 自分の将来の夢をゆっくりと考えよう！

本校は、すべての学校の隅々にまでエアコンが完備されているような、過保護な環境の学校ではありません。田舎特有の自然環境の厳しさや、多少の不便さも、子供たちの成長を促すものであり、たくましく成長させる財産だと考えています。

私は、本当にいい学校というのは、

①自分の成長に合わせて上手に「鍛えてくれる」学校

②「充実感」や「達成感」を味わう機会の多い学校 だと思っています。

青年期は疾風怒濤(しっふうどう)の時代だと言われますが、**中学高校の6年間を同じ学舎で過ごし、自分の将来についてゆっくりと考え、語り合うことは本当に貴重で大切な経験です**。この自然豊かな黒木の地で、「夢」や「希望」を「志(こころざし)」に高め、何事にも自分からチャレンジできるよう一緒に頑張りましょう。

### (2) どうせ頑張るなら「楽しくなければ学校ではない！」

実は、本校には多くの兄弟生が在籍しています。このことも、私が赴任して驚いたことの一つです。**「兄や姉が通っていて楽しそうだったからこの輝翔館を選んだ」という声は、本校にとって最高の褒め言葉であると思っています**。

小学6年生の皆さん、わずか12歳でこれから6年間の学校を決めることは、かなりの勇気があることと思います。私たち輝翔館中等教育学校の職員・生徒一同は、皆さんが楽しく学校生活を送ることが出来るよう全力で応援するとともに、皆さんの人生を「一歩前に進める学校」「昨日より今日、今日より明日と成長させる学校」であり続けるよう頑張ります。1人でも多くの皆さんが本校を第一志望にし、受検を突破してこの輝翔館中等教育学校に入学することを期待しています。